



墨東の学び

学校通信の号
令和5年9月29日発行
東京都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

授業参観に御来校いただき、ありがとうございました。

墨東生にとって、御家族が参観に来てくださることは特別なことでしょう。さらに参観者が来られることは、指導メンバーにも大きな励みになります。感想をおよせください。

＜病弱教育部門＞ロボットプログラミング選手権出場！

入院中の病弱教育部門の児童・生徒にも、全国規模で切磋琢磨する機会をとの願いが発端となり、全国の病弱教育校長会が数年前に始めた伝統の大会が「全国ロボットプログラミング選手権」です。モーター付きの戦車型ロボットのプログラミングを習った小中高校生が3名でチームを組み、相手の動きを想定して独自にプログラムを組み上げて、大会本部にデータを送ります。大会では2校のプログラムをインストールしたロボットが向かい合って審判の下で取組スタート。送り出し、押し出し、肩透かし…等の技を繰り出して3回戦で2勝したチームが勝ち上がっていきます。10/5(木)には関東甲信越地区大会が開催され、本校からは、2チーム出場します。勝ち進めば全国大会に出場できます。本校チームの対戦を御紹介します。

◆墨東Aチーム【サザンドラ・スヌーピー・サク】

山梨県立富士見支援学校旭分校チーム「TKG」と対戦
対戦時間：10/5(木) 10:42～10:52

◆墨東Bチーム【うさぎ・スカイ・ジャイアンツ】

同富士見支援学校旭分校チーム「×2金マン」と対戦
対戦時間：10/5(木) 10:00～10:10

本校や院内ではZoom配信をリアルタイムで観戦します！次号で結果をお伝えします。吉報をお待ちください。

今年も「アートパラ深川」のアクションに参加！

恒例の地域アクションである「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」に、周辺の特別支援学校と同様に今年度も参加します。深川エリアで作品を見かけたらラッキーです！

【ハートカード】 本校小6・中3・高3の墨東生が台紙に色とりどりの紙テープを貼って作成しました。⇒10/14(土)10/15(日)ららぽーと豊洲センターポートでハートのオブジェとともに展示。その後、10/16(月)～10/22(日)清澄庭園大正記念館にて同様に展示

【アート絵馬】 本校小6・中3・高3の墨東生に御家庭での作成をお願いしました。絵馬型の木質ピースへ自由に描くアートです。⇒10/14(土)～10/22(日)の全期間、富岡八幡宮で展示。10/19(木)には、高3生が学校代表として、鑑賞に行きます。富岡八幡宮では運営に携わる武蔵野大学生の案内のもと一緒に見学し、交流してきます。

【ハートのオブジェ】 本校(通学・訪問)の全墨東生で作成しました。大きな立体のハートに色とりどりの紙テープを貼って作りました。⇒ハートカードと同じ場所に展示

＜予告＞ 11/29(水)本校でオペラの特別上演！

都教育委員会独自事業「笑顔と学びのプロジェクト」として学校に「オペラ」の一座を招いて、全墨東生で鑑賞します。

進行しながらの解説とピアノ演奏をしてくださるのは、オペラの作曲やモーツァルト研究で著名な「青島広志先生」です。テレビ番組「世界で一番受けたい授業」等にも登場されていたり、オペレッタを各地でプロデュースされていたりされています。他にオペラ歌手3名の方達も加わって、一日限りのオペラ劇場を体育館に設営し、専任舞台監督の下で、演目「パールギュントの大冒険」を上演します。

午前の部は小学部、午後の部は中学部・高等部対象の2回公演です。分教室や訪問生も鑑賞できるようにオンライン配信します。会場には保護者・御家族席も設けますので、ぜひ御来校ください。⇒詳細は後日、御案内します！

＜予告＞ 11/8(水)AMに保護者学習会を開催！

夏季休業中の教員研修会「考え力を育てるための授業力向上研修」に希望されて参加された保護者の方から以下のような感想を頂戴しました。(以下に一部を抜粋し要約)

◆こうした声をエネルギーに、11/8(水)午前にPTAと学校の共催で保護者学習会を企画します。⇒別途、10月中旬に御案内文書をお届けします

★保護者にも学習会参加機会をありがとうございます。家庭でもどのように教えたらいのか大変悩んだ部分でした。親は子供のできる事を模索しています。今回の学習会は学校での指導方法を知り、家庭でどのように取入れられるかのヒントになる会でした。学校でどのように学習しているのかを分かる実践的な学習会があれば、家庭と学校で足並みをそろえて子供の可能性を伸ばす学習ができるのではと思いました。個人での情報収集には限界がありますので、今回のように学校から発信はとてありがたいです。今後も学習会に参加したいです。

★好機会に感謝します。見せ方、注意の引き方、タイミング、環境を整える事、関わり方に気を付ける事で学習が積み重ねることがわかりました。さらに課題学習を通してコミュニケーションの学習にもなる事がわかりました。この教えを日々の関わりの中で活かしていきます。貴重な学びの機会をありがとうございました。宮城先生御自身が失明されてからも、自分に負けない強い想いで様々な事に取り組みされてきた御経験談にも励まされました。

★経験と実績に基づく細やかな実技と指導でした。我が子の視線に注意を払うことを宇川先生が御指導くださったおかげで、細かい部分にも気が付き「できない」「わからない」を前提に我が子に接している面があり、工夫とやり方次第で我が子が『できた!』『わかった!』という

体験ができるのかもと希望がふくらみました。

- ★子供の視線の位置、声かけのタイミングなど学習に限らず普段の生活にも活用できる内容で勉強になりました。
- ★指導する側と生徒の気持ちの両方を指導体験から感じる事が出来ました。宮城先生の50年に渡る経験や研究成果をこの学習会で勉強させて頂き、心より感謝します。宮城先生の人生は冒険の連続、ずっとお元気で御活躍されますようにお祈り申し上げます。
- ★子供の目線を瞬時にキャッチし、その瞬間に遅れずに褒めて次へ進めていくプロセスが、どのような場面でも起こり得ると実感できました。日常生活動作の中で見逃している部分を御指摘くださりありがとうございました。親としてハッとさせられた時間となりました。
- ★以前から指先の感覚だけで型はめをしている様子を見て「これでいいのだろうか?」と疑問を感じていましたが、学習会を通して、形の弁別ではなく、形をはめる事ばかりが目的になってしまっていた事に気付きました。集中できる環境づくりから課題を見やすい位置に設定する事は他の課題や日常生活にも応用できます。宮城先生のお話の中で形が分かるようになると生活の中でいろいろな形を捉えやすくなると仰っていたことに共感しました。
- ★講義を聞いて、子供の目をよく見て、何を考えているのか、感じているのかを少しでも理解できれば、毎日の生活が少しずつ良くなっていくはずとの希望を得ることができました。宮城先生は教師の皆さんに「できた時には最高の笑顔で、全力で誉めるように!」と指導されていて、親として本当に嬉しかったです。
- ★子供の視線とその捉え方など、知らなかった事がたくさん分かって勉強になりました。これからは子供の目をしっかり見ながらたくさん誉めていきます。
- ★視線の大切さを新たに学びました。家庭でも意識しながら役立てていきます。また先生方が、こうした研鑽の取り組みをされている事を知る良い機会となりました。
- ★子供の文字・数字の学習をもっと進められたらと思いついて受講させていただきました。先生役と生徒役をロールプレイで体験することで、先生達がどのように子供に課題を取組ませてくださっているのか、その一端を理解することができました。課題の示し方とタイミング、声掛けを実際に試しながら学ぶ事で理解できました。保護者も参加できる形で開催して下さり、ありがとうございました。

「進路の秋」～小1から始まる進路学習～

卒業学年生は、半年後を見据えての大切な時期です。日頃から蓄えてきた力を存分に発揮し、次ステージでの一層の「自己実現」を祈っています。特別支援学校は「自立と社会参加」を目指した小1から始まる学びの場です。この「自立と社会参加」に向けた「進路指導」や「進路学習」そして「キャリア教育」について御説明します。

進路指導 進路学習 キャリア教育とは…

「進路指導」という言葉からは、高校段階に進学し、「卒業後の進路先を決めること」がすぐに頭に浮かびます。しかし、

「進路指導」の大事な中身はこれだけではありません。学校卒業時の進路先決定は大切な事ですが、そこに至る小1から始まる在学中の12年間全てが自分の人生を形作っていくための大切な期間です。基礎学力の獲得を基盤とした上で、進路学習として次の各領域の力を様々な授業をとおして身に付けていきます。

自己理解・自己適性：自分ってどんな人ですか？

まず「自分をよく知ろう!」自己分析だけでなく、周囲の人に自分の良さを挙げてもらったりしながら学習する方法もあります。

生活：生活に必要な力とは何ですか？

日常生活の中では、トイレ、炊事、喫食、移動、洗濯、掃除・片付け、買い物、通院…「自分でできること」、「支援してもらおうとできること」をよく分かっていますか。

時間の使い方も大切な内容です。

余暇：時間ができたら、何かしたいことは？

「あれをしたい・これをしたい」そのためにはこれの準備をして…これが生きる意欲、リフレッシュと共に生活にメリハリを付けてくれます。やりたい事への自覚と行動力を身に付けることも豊かな生活づくりには欠かせません。

職業理解：働いて、どんなことですか？

「働く楽しさややりがいって何?」「どんな仕事があるの?」…それぞれの仕事にはどんな特徴があるのでしょうか。また、障害の程度や状態と病状によっては、卒業後の進路先での生活理解と解釈してもよいでしょう。

職業適性：何が向いていますか？

さまざまな仕事があります。(職業分類によっては、270余の仕事の分野があるともいわれています。)それぞれの仕事の特性を理解しつつ、自分には何が向いていて、力を発揮しやすいだろうかと考えて判断することです。このことは、前述の自己理解が前提です。

将来設計：どんな人生を歩みたいですか？

人生設計のことです。人生のゴールは就職だけではありません。卒業後の人生を段階別に自分なりに夢を盛り込みながら積み上げていく設計図のことです。

情報活用：情報はどうやって集めますか？

豊かな人生を歩むためにも、自分の就きたい職業や進路先・進学先を見出すためにも、知識が豊富に越したことはありません。しかし全部を知らなくても、どこに必要な情報があって、どうしたら使いこなせるのか。どの人に尋ねれば詳しいのか…。情報活用の力を在学中から身に付けていく必要があります。

卒業後の人生を自分らしく生き、豊かにしていこうとする力を付けるための学びを「キャリア教育」といいます。学校にいる間だけが人生ではありません。卒業後の長い人生の中での生涯学習にも繋がる在学中の教育には、国・数・音・美・体・自立活動等…。どの学びも、その人の人生設計につながるものであるはずで、学校は生涯学習の基点そして起点でもあります。安心と豊かな未来を目指し、共に歩んでいきましょう。 校長 田村 康二郎